U-50（アンダー50）とは

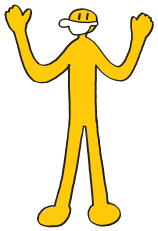
「U-50（アンダー50）」は、2018年3月からスタートした、市民活動に関わる人物を紹介するコラムです。市内NPOの若手エース（50歳以下の活動者で代表に限らない）を応援することを目的に、その活動を広報します。

若手エースとしての想いや今後の展望をインタビューで伝えています。そして、次のインタビュー先となる若手エースを紹介してもらい、リレー方式でつなげて、市民活動の可能性をさらに広げる企画です。

U-50はこちらから▼
http://www2.kawasaki-shiminkatsudo.or.jp/volunt/u50/

公益財団法人 かわさき市民活動センター
〒211-0004　川崎市中原区新丸子東3-1100-12
TEL044-430-5566　FAX044-430-5577
《E-Mail》suisin@kawasaki-shiminkatsudo.or.jp
《URL》http://www2.kawasaki-shiminkatsudo.or.jp/volunt/

※あなたのご寄付は所得税・法人税の控除が受けられます



2022.1

かわさき市民活動センター

これからの市民活動を担う、若手エースの想いや展望

「U-50（アンダー50）」は、若手エースとしての想いや今後の展望をインタビューします。そして、次のインタビュー先となる若手エースを紹介してもらい、リレー方式でつなげ、市民活動をさらに広げていきます。

U-50
［アンダー 50］

川崎市の地域活動をつなぐ、U-50リレーを展開しています。

U-50はかわさき市民活動センターのHP上で連載しているコラムです。川崎市内の市民活動で活躍する50歳以下の若手エースの想いや今後の展望を紹介しています。2018年3月にスタートした第1回から2020年の第36回まで登場したエースを紹介します。

2018年スタート！

1 中原区
太田 修嗣さん

3 中原区
高橋 麻美さん

4 高津区
鈴木 英智佳さん

5 高津区
山本 詩野さん

6 中原区
伊早坂 遥さん

7 川崎区
皆川 智之さん

8 川崎区
赤根 広志さん

9 中原区
中村 崇さん

10 中原区
真鍋 靖子さん

11 中原区
荒木 亜紀子さん

12 幸区
石井 麗子さん

14 麻生区
千葉 駿さん

15 麻生区
田中 みずきさん

16 麻生区
小野 さくらさん

17 中原区
新村 慶太さん

18 中原区
福地 真吾さん

第34回

岩川 舞 さん
（いわかわ・まい）
幸区（在勤）

「新川崎タウンカフェ」店長／「鹿島田DAYSコワーキングカフェ」店長／「さいわいソーシャルデザインセンターまちのおと」コーディネーター

2店舗のカフェの店長を兼務し〝まちのおと〟さいわいソーシャルデザインセンターでコーディネーターをしています。新川崎タウンカフェは2021年11月に5周年を迎え、まちや地域の方、小箱ショップ作家さんやお客様から沢山の応援メッセージをもらいました。この先もまちのかたと一緒に、過ごしやすい場を継続していければと願います。

第35回

望月 晶子 さん
（もちづき・まさこ）
高津区（東京都在住）

「紙しばいや もっちぃ」

「SDGsバルーンアート紙芝居」を川崎市企業SDGs啓発イベントで協働したい。オンラインでは川崎市の学校やイベントで紙芝居による県外交流や国際交流を行っています。学童保育で沖縄の紙芝居師とつなぎ沖縄文化を紹介、綾瀬市ではメキシコ・ドイツとつなぎ各国の食事情を紙芝居で紹介しました。

第36回

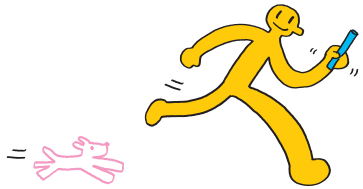
石渡 裕美 さん
（いしわた・ひろみ）
幸区

NPO法人「はたらくらす」代表理事

「はたらくらす」は健康、教育、ビジネスの分野のイベント開催を入り口にしたコミュニティ。イベントの参加や運営に関わることで、個々が生き活きと生活し、良好な人間関係の輪が広がり、誰もが望めば自己実現を目指せる環境をつくりだせます。そのようなコミュニティが街に溢れることで、地域課題を解決します。

まだまだ繋いで行きます！

※掲載時から所属や活動に変化がある人もいます。掲載時の情報についてはU-50のWEB頁をご覧ください。



http://www2.kawasaki-shiminkatsudo.or.jp/volunt/u50/

U-50
［アンダー50］

第30回

中村 ふみよ さん
（なかむら・ふみよ）
麻生区

「Vege & Art Fes実行委員会」実行委員長／
「ふらっと新百合ヶ丘」代表

コロナ化になって活動も大きく変わってきましたが、新たに「こどもSDGsラボ」というSDGsをテーマにしたイベントを開催し、多くの学びを得ています。多世代交流〝ふらっとリビング〟は続けており、どう継続していくかがテーマです。2022年はアートをテーマにつながりを作りたいと考えています。ベジフェスもまたやりたいです。

第31回

假屋 恵子 さん
（かりや・けいこ）
多摩区

「コミュニティーハウスMUKU」代表

コロナ感染が広がってからは、特に年齢を問わずストレスを抱えている方々が多いです。今後は感染状況を考慮しつつ、特に皆さんの悩みや不安、ストレスなどを少しでも解消するような企画や、助け合いを広げられるコミュニティ形成を意識しながら運営して行きたいです。

第32回

大澤 洋子 さん
（おおさわ・ようこ）
多摩区

「てらこみーる」実行委員
「地域通貨たま」事務局

U50の掲載時は、自分の係わる活動が「こども食堂」を中心に大きく広がっていましたが、介護を含めた家事や本業の仕事の比重が拡大し、自分の暮らしを見直さなければと考え始めた頃でした。現在は、外せる肩書を外し、本当に「自分が必要だ」と感じる部分に重心をかけるよう意識しています。

第33回

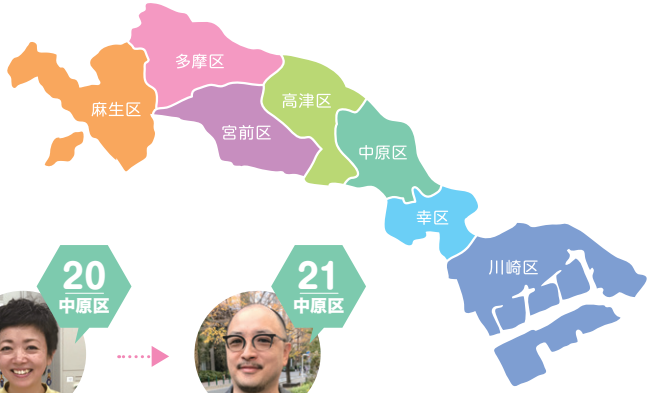
もり まさの さん
高津区

「にこにこあおむし人形劇団」代表
「縫工房Silk」代表

現在、「気ままに縫い物倶楽部」という場を少しずつ増やしています。縫い物を通して小さなコミュニティの場を作っていきます。刺し子をしたり洋服の直しをしたり着物のアップサイクルをしたりしています。無心に縫ったり、おしゃべりしたりと、気ままに参加していただきたいです。

※諸事情により欠番になっている人もいます。

※在住が川崎市以外の人もいますが、ここでは市内で活動している場所で記載しています。



19 中原区
岡本克彦さん

20 中原区
佐藤 由紀さん

21 中原区
大坂 亮志さん

22 宮前区
中田 真由美さん

23 宮前区
阿久津 麻実さん

24 高津区
平松 あずささん

25 宮前区
小川じゅんさん

26 宮前区
佐藤貴房さん

27 宮前区
小浦千恵さん

28 宮前区
浅野真紀さん

29 高津区
丸山佑樹さん

30 麻生区
中村ふみよさん

31 多摩区
假屋恵子さん

32 多摩区
大澤洋子さん

33 高津区
もりまさのさん

34 幸区
岩川 舞さん

35 高津区
望月晶子さん

36 幸区
石渡裕美さん

続きはWEBで！

http://www2.kawasaki-shiminkatsudo.or.jp/volunt/u50/

U-50
[アンダー50]

2020年までに登場したエースたちを紹介します。

第1回

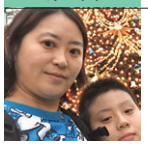
大田 修嗣 さん
（おおた・しゅうじ）
幸区

認定NPO法人「くるみ―来未」
（自閉症支援団体・代表）

自閉症のある息子の父親。本業は会社員。障害のある人と家族を支えるNPO運営がライフワーク。現在は通信制大学で福祉の勉強にも取り組む。2020年2月に中原区上平間に地域の居場所「くるみのおうち」を立ち上げ、誰もが生きやすいインクルーシブな社会づくりに奮闘中。

連絡はkurumi.no.ouchi1970@gmail.com

第3回



高橋 麻美 さん
（たかはし・まみ）
中原区

玉川地区夏祭り実行委員会
川崎市立玉川中学校区地域教育会議 副議長

息子の成長に伴い地域教育や学校外での学びへ関心が高まったことと、ワーキングマザー応援の講座が充実してきたことから、現在は地域のお祭りと地域教育会議へ活動の軸をスライドしました。これからも〝MaMa（＝More active,More ambitious）〟を大事に、大人と子どもが交わりながらこれからの"働く"を考えていきたい。

第4回

鈴木 英智佳 さん
（すずき・ひでちか）
高津区

一般社団法人日本だじゃれ活用協会 代表理事

直近ではオンライン化を追い風に、フランスにある日本人補習校の子ども達に「だじゃれ教室」を開催するなど、世界に活動の輪が広がっています。また、「だじゃれは世界を救う！」を持続可能なものとするために、活動を支援いただける企業スポンサーの募集に注力しています。

第5回

山本 詩野 さん
（やまもと・しの）
高津区

溝の口減災ガールズ代表

減災を自分ごとにするために2016年から活動。常備食材の調理を始め、災害時のトイレ作り、ハザードマップを活用したワークショップを開催。日常やっていることが被災時に活きることを伝えています。防災訓練の他、コミュニティ作りや学校教育など幅広い観点で県外にも活動が広がっています。

第25回

小川 じゅん さん
（おがわ・じゅん）
宮前区

TIDA's house管理者／SUN FESTA代表／ビオスチームセラピスト／ビショントレーニングトレーナー／子育てアドバイザー

掲載時とさほど変わりはありませんが、コロナで大きなイベントがまだ出来ていないので、TIDA's houseで小さなイベントをやっていました。コロナ禍でも、地域の方に楽しいことを少しでも提供出来ればと試行錯誤しながら開催しています。今後も変わらず楽しいことをやり続けたいです。

第26回

佐藤 貴房 さん
（さとう・たかふさ）
宮前区

MSBN（みやまえスモールビジネスネットワーク）代表／イラストレーター

コロナ騒動の中で、作り手がいつでも対面・イベントの中で作品発表や販売の機会を持てるわけではないことを知りました。この経験を活かし、オンラインやバーチャル等も含め社会状況に変化があっても作り手が機会を失わないよう、今の活動にプラスしていきたいと思います。

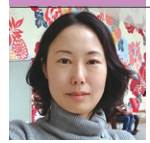
第27回

小浦 千恵 さん
（こうら・ちえ）
宮前区

宮前区「ゆ～ずツクルブ」部長

コロナ禍においてなかなかイベント開催ができずにいましたが、多くの方々に楽しんでいただけるイベントを稗原地域で開催できる日に向けて少しずつ動き始めました。今は、2022年1月～2月開催予定の「みやまえご近助ピクニック」の会場装飾や出店の準備にメンバー全員で取り組んでいます。

第28回



浅野 真紀 さん
（あさの・まき）
宮前区

「宮前まち倶楽部」メンバー(みやまえご近助コンシェルジュチーム担当・ホームページ担当）／「まちかどシェア実行委員会」代表／「キラリDOG」(ペットビジネスマーケティング・ドッグトレーニング）／「デザイン&ティップスmm」

昨年後半は、今までの地域活動に加え、地域の資源を見える化し、多様な世代が交流して創発が生まれる「まちかどシェア」を実行委員会として立ち上げ、代表に着任しました。異なるタイプの人が集まることで、予想外のコラボや新たな人間関係が生まれ楽しみです。運営や企画の様子を見学されたい方はお気軽にHPからご連絡ください。

第29回

丸山 佑樹 さん
（まるやま・ゆうき）
高津区

ネイバーフッドカフェ「TETO-TEO」（テトテヲ）主宰／共創型シェアマーケット「Nokuchi-Lab.」ノクチラボ主宰／街づくり会社　ten.inc代表

新たにマルイファミリー溝の口にて、地元産にこだわり様々な生産者や作り手と連携する、パンとお菓子のお店「Len -Local Speciality Factory-」をオープン。同時に「余 白 -YO HA KU-」という贈り物のブランドを2店舗同時オープンしました。

U-50
[アンダー50]

第21回

大坂 亮志 さん
（おおさか・りょうじ）
中原区

こすぎの大学代表
協同組合武蔵小杉商店街理事

コロナ禍で今までと一転。「集まる」ということすら難しくなりましたが、オンラインでの開催を活用することでこすぎの大学は継続して開催できました。市民活動も工夫次第でいかようにもなることを実感しました。今回の経験を糧にして多くの方により楽しんでもらえる会にしたいと思います。

第22回

中田 真由美 さん
（なかた・まゆみ）
宮前区

「じもたんｋｉｄｓ」代表

じもたんkidsの活動は、コロナ以降子どもたちが集まりにくい状況が続いています。このため、以前よりはペースを落として取材を行っています。今後も、無理のない形で地域の人を取材する＆記事を書くという活動を続けるつもりですが、今までのやり方にとらわれず、柔軟に模索したいと考えています。

第23回

阿久津 麻実 さん
（あくつ・あさみ）
宮前区

mama-on! 事務局

地元のママたちを応援するべく10月にmama-on！5号を発行、地元スーパーなどで（HP参照）配布中！11月は4年目になる川崎市のママたちで立ち上げたビッグイベント「まんなかフェス」を開催。コロナ禍でも頑張るママたちと楽しいことを続けていきたいです。

HP：https://mama-on.jimdofree.com/

第24回

平松 あずさ さん
（ひらまつ・あずさ）
高津区

まんなかフェス実行委員長
株式会社カリヨン・カンパニー代表

カリヨン・カンパニーは、オリジナルメソッド「カリヨンメソッド 」を全国に広めるべく、保育士研修や認定講師にも力を注いでいます。現在はオンラインでも保育園や幼稚園などでカリヨンレッスンできるように準備を進めています。どうぞこれからもカリヨンにご注目ください！

第6回

伊早坂 遥 さん
（いはやさか・はるか）
愛称：シチューさん
中原区

トビラ株式会社 取締役

トビラ（株）は、武蔵新城駅を拠点に活動。イベントの企画・運営からデザイン、印刷など催し事全般の制作をしています。他にもNPO法人小杉駅周辺エリアマネジメント理事、かわさきFM「かわさきショウタイム　コスギスイッチON！」の番組プロデューサーなど複数に所属。フェスタなどまちづくりのイベント運営にかかわっています。

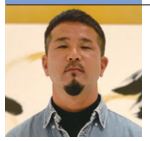
第7回

皆川 智之 さん
（みながわ・ともゆき）
川崎区

NPO法人ふれんでぃ 理事

現在は活動の枠を超え、路上生活者や生活に困窮されている方に月に一度、多摩川河川敷で今年1月からボランティアで炊き出しを行なっています。コロナ禍により厳しい生活を余儀なくされた方や、長期にわたり路上生活をされている方たちなど炊き出しを通じ繋がる活動を行なっています。

第8回



赤根 広志 さん
（せきね・ひろし）
川崎区（茅ヶ崎市在住）

NPO法人CirColors Japan
（サーカラーズ ジャパン）代表理事

「OYASHIROFes」（オヤシロフェス）は5年目を迎え、2020年と21年はコロナの影響で無観客のオンラインイベントで実施しました。20年から川崎区の協力によるストリートカルチャーを発信するイベント「STCULFes」（ストカルフェス）も開催。より深く川崎市に関わるようになり、今後も川崎を魅力ある街となるよう盛り上げていきたい。

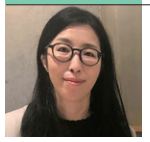
第9回

中村 崇 さん
（なかむら・たかし）
中原区

株式会社ソトコト・プラネット ソトコト事業部

現在は雑誌『ソトコト』を発行している会社で、地方自治体からの依頼で関係人口を創出する講座運営やプロモーション動画の制作、SDGsの普及啓発セミナー運営等のディレクションを担当。事業を通じて楽しみながら地域や社会がよくなる場づくりを目指しています。

第10回



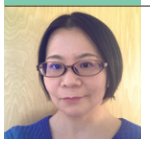
真鍋 靖子 さん
（まなべ・やすこ）
中原区

こすぎトラベラーズサロン＆親子旅育推進部 代表

環境が変わり積極的に会を開くことは厳しい状況ですが、お声がけいただいた場合に対応する形で存続させています。実際の旅には出づらい今日この頃ですが、コロナ禍以前から提唱していた「妄想旅行」の文字をメディアで見かける機会も増えました。今だからこそ過去と未来の旅に思いを馳せたいですね。

U-50
［アンダー50］

第11回



荒木 亜紀子 さん
（あらき・あきこ）
中原区

かわさき医療情報ネットワーク 代表

かわさき医療情報ネットワークは、子どもたちが自分のからだとこころについて楽しく学べる場づくりをしています。コロナ禍となり、2020年度にオンラインにて「こすぎこども大学宇宙部」を開催後、子ども向け講座を開催していません。また時期が来ましたら、子ども向けの体験型の楽しい講座を開催したいと考えています。

第12回

石井 麗子 さん
（いしい・れいこ）
幸区

一般社団法人プラスケア
看護師・コミュニティーナース

暮らしの保健室は、向河原・元住吉・武蔵新城の3か所と元住吉の「となりの.」というカフェで相談会イベントを定期開催。今後は、心配事だけでなく「楽しさ」や「嬉しさ」からつながるような活動やしくみにも取り組みたいです。待っているだけでなく、さまざまな場所やテーマで深めていきたいです。最新情報は団体のfacebook頁、HPで。

第14回

千葉 駿 さん
（ちば・しゅん）
麻生区

Global Café×オリパラ リーダー

Global café（言語交換を目的にしたLanguage Exchange）はコロナの影響もあり、現在は活動を休止しています。ただ、ここで知り合いになった外国や地元の方とは、これまでZoomで不定期にLanguage Exchangeを実施してきました。コロナが明けたら、また地元の方々が集うコミュニティを作れたらと考えています。

第15回

田中 みずき さん
（たなか・みずき）
麻生区

Beaulily（ビューリリー）代表

コロナ禍ではありますが、新百合ヶ丘地域でつながる様々な方や団体・企業様と、ご一緒できることを続けています。無印良品様とはコラボ企画の動画を作成。月に一度地域コラボで「ママナビじかん」という企画もスタートしました。復活してきた地域のイベントにも出店させていただいています。

第16回

小野 さくら さん
（おの・さくら）
麻生区

まごころキッチンプロジェクト 代表

定期的に防災講座を開催したり、区の防災訓練などに協力して防災に対する備えのお手伝いをしています。講座は、災害時のトイレについて／災害時の食事／災害時の口腔ケア／キッズ防災など、カテゴリーに分けて対象年齢に合った内容にしています。平常時にできる備えを精一杯お届けしていけたらと思っています。

第17回

新村 慶太 さん
（にいむら・けいた）
中原区

モトスミ・オズ通り商店街専務理事／合同会社響氣 代表社員／和式整体＆整心響氣 院長／和菓子と日本酒と薬草茶屋のある駄菓子屋さん 和氣和氣 営業部長／ライセンスアカデミー講師（進路アドバイザー）

新たな店舗を出し、より地域の人々に必要とされる様な店舗作りに励んでいます！さらに新たな事業展開が出来れば面白いと考えています！

第18回

福地 真吾 さん
（ふくち・しんご）
中原区（横浜市港北区在住）

福街（ふくまち）不動産 代表

引き続き街の不動産として街の灯りの一助となれればと思っています。個人的には文房具が好きなので文房具屋兼不動産屋を新たに作りたいなと企んでいます笑。

第19回

岡本 克彦 さん
（おかもと・かつひこ）
中原区

こすぎの大学 企画運営メンバー

毎月第2金曜日の夜、武蔵小杉に興味関心ある人たちが集まる学び舎「こすぎの大学」を企画運営しています。2013年9月に開校し、20年4月には節目の100回目を迎えました。大人も子どもも楽しめるオープンキャンパスを目指して、これからも、自ら楽しみながら運営していきます。

第20回

佐藤 由紀 さん
（さとう・ゆき）
中原区（逗子市在住）

ハイパー顔ハメクリエイター

コロナ禍でイベントも激減してしまったので、現在はリアルな顔はめではなく「顔はめ名刺」というものを作っています（似顔絵入りの名刺の上から、顔はめのシールを貼るといったアイテム）。対面での名刺交換が減っていますが、だからこそインパクトのあるとっておきな名刺が良い！と好評です。